

COVID-19時代のコンドームと潤滑剤



低・中所得国のニーズに合わせて
供給と人を中心としたアプローチを維持しよう

行動に向けた短い解説、2020年4月

COVID-19のパンデミックのために、コンドームの供給と需要創出が妨げられないようにすることがこの解説文の目的です。パンデミックがもたらす新たな状況により、性的関係も変わっていくものかもしれませんが、なくなることはありません。男性用、女性用コンドームは過去30年にわたり、HIV感染と性感染症（STIs）、望まない妊娠を減らすための対策に極めて重要な役割を果たしてきました。しかし、ロックダウン政策を採用している国で、コンドームを生活必需品に含めず、結果として自由に手に入らない状態が続けば、その成果も失われてしまいます。この短い解説文は、各国のコンドームプログラム担当者や専門家に向けて、男性用、女性用コンドームと潤滑剤の供給を維持し、COVID-19時代に合わせたコンドーム使用の普及策を進めるうえで必要な活動を要約したものです。

コンドームと潤滑剤の供給確保

COVID-19パンデミックに伴う経済活動の中断は、性と生殖に関する健康やHIVなど様々な分野の健康関連製品の提供と入手手段、安全確保に広く影響をもたらしています。コンドームの供給・配布も例外ではないのですが、生活必需品とみなされてはいないので、COVID-19緊急対策の中でも十分な検討はなされずにきました。HIV、STIs、望まない妊娠が増えれば、女性や若者の健康リスクが拡大します。とりわけ、今回のような危機の下では、すでに社会的な脆弱性にさらされているキーポピュレーションの人たちへの影響が大きくなります。国連合同エイズ計画（UNAIDS）と国連人口基金（UNFPA）はコンドームの供給、配布、普及の必要性を強調し、パートナー組織の協力を得て危機に対応したコンドーム普及の

持続策に積極的に取り組んでいます。

いまコンドームと潤滑剤を生活必需品の確保計画に含めることは、極めて重要です。とくにコンドームと潤滑剤のサプライチェーンに関しては新たな課題も浮上しており、各国がそれぞれに受ける影響を理解したうえで取り組む必要があります。

- **コンドーム生産の維持。**コンドームの生産国政府が工場の閉鎖を決め、コマーシャルや出荷活動を抑制したり、国境を封鎖したりすれば、コンドーム生産は低下します。調達機関または調達国政府は、品質の保証されたコンドームを含め、リプロダクティブヘルスやHIV関連の製品が途切れることなく持続的に供給されることを確認しなければなりません。そのためにはリスク分析を行い、異なる国の数カ所のコンドームメーカーを含めた緊急対応計画を作っておくべきです。
- **出荷が遅れる要因。**コンドーム製造業者を抱える国がロックダウンすれば、出荷と輸送を担う貨物輸送業者は目的地にコンドームを届けられなくなります。世界中で海上輸送が制限され、目的国の港湾にも機能が制限されるところや閉鎖になるところが出ています。出荷検査を行う国もあり、通関手続きの遅れで積み荷は港の倉庫で待機したままになるでしょう。承認される積み荷は限られ、コンテナが堆積し、輸送キャンセルが相次ぎ、運賃は高騰し、輸送の選択肢が減り、見積もりもできず、荷物が野積みされたまま港も倉庫も大混乱になります。
- **現在のコンドーム在庫レベルの評価。**不安定な現状では、主要な医薬品店の男性用および女性用のコンドーム

ムと潤滑剤の在庫状況を評価し、在庫不足を防ぐために月単位で倉庫の分散化をはかっておく必要があります。各国には最小限9か月分の非常用在庫を確保し、国内配布拠点に6か月分の供給能力を維持しておくことが勧められています。

- **保健関係の生活必需品の一部としてのコンドーム確保。** 夜間の外出を禁止している国では、国内輸送も影響を受け、商品の配送に悪影響が出ています。配送トラックの荷物の一部としてコンドームを含め、保健医療施設や店舗、コミュニティの施設、自動販売機、その他の移動施設に届けられるようにすることが極めて重要になります。

コンドームと潤滑剤への人を中心にしたアクセス

コミュニティのアウトリーチ活動ができなくなれば、コンドームへのアクセスは断たれてしまうことが十分に予想できます。コンドームは都市や国が封鎖されている間もアクセスを確保すべき必需品であると考えなければなりません。

- **キーポピュレーションや若者、その他の弱い立場に置かれている人たちのニーズへの対応。** キーポピュレーションや弱い立場の集団におけるCOVID-19時代のHIVサービスへのアクセスを評価する際に、コンドームと潤滑剤は課題として切り離して考える必要があります。関連するコミュニティやネットワークと協議したうえで、それぞれの集団ごとに適した解決策をさぐる必要があるからです。
- **民間販売網でコンドームへのアクセスを維持。** 必要な食品や生活用品を販売するスーパーマーケット、薬局、その他の店舗やキオスクで、コンドームと潤滑剤を販売できるようにすることも重要です。COVID-19対策で他の避妊薬へのアクセスが制限されているときには、とりわけ重要になります。
- **物理的距離を保てるコミュニティ・サービス拠点での配布。** 他の店舗が閉じているときに、コミュニティの人たちが男性用、女性用コンドームと潤滑剤にアクセスできるよう重要な配布拠点にコンドーム販売機を配置する必要があります。さらにコミュニティが設置に関与できれば、補充しやすく、利用にも適した場所に配置できるよ

うになります。COVID-19予防対策には、こうした配布戦略を常に反映させる必要があります。

- **コンドーム、潤滑剤、その他の避妊薬を保健医療施設の必需品とする。** 保健医療施設や他のサービス提供施設では、人びとが希望すればコンドームが入手できるようにしておくことが大切です。保健医療施設でコンドームを得ることが人びとをCOVID-19のリスクにさらすおそれがあるところでも、コンドームに対する理解を妨げるようなガイダンスは避けましょう。その代わりに、入口に配達箱を置いておくなど、他の人と近い距離で接触しないですむような方法でコンドームが入手できるよう工夫してください。
- **コンドームと潤滑剤の複数月提供の強化。** 保健医療施設や店舗を訪れる機会を極力、減らすため（まだやっていないところでは）複数月分のコンドームと潤滑剤の提供を考えるべきです。コンドームと潤滑剤を3カ月分、提供することは通常でも勧められるし、物理的な距離政策のもとでは最低限に行うべきことになります。ユーザーのニーズに沿った提供体制を（必要があるところでは）検討すべきですが、それは同時に全国的な在庫の状況をにらみつつ決定する必要があります。配布時にコンドームの提供数を制限することはセックスワーカーを対象にしたサービスなどで報告されることもありますが一避けるべきです。複数月供給は個人のニーズを踏まえて行う必要があります。
- **コンドームへのアクセスを物理的距離政策違反で訴追しないようにするファイアーウォール。** 物理的距離政策により人びとが会うことを許されていないところでも、セックスを犯罪とみなし、コンドームへのアクセスを制限するためにこうした規則を使うべきではありません。そうした手法でCOVID-19の原因となるウイルスの感染拡大を防ぐことはできず、他の感染症を広げてしまうかもしれません。コンドームと潤滑剤のような良質の保健医療サービスの提供と物理的距離対策との間はファイアーウォールではっきりと仕切っておく必要があります。どんな人であっても、物理的距離政策のためにコンドームや潤滑剤の所持で罪に問われたり、アクセスを拒まれたりしてはならないのです。
- **必要に応じコンドームを緊急支援物資に。** 社会的に弱い立場の家庭に食料を配り、保健医療施設にマスクその他の医療用品を提供するのと同じように、サプライチェーンが崩壊したところでは、状況に応じコンドーム

や他のHIVと健康に関する製品を含めましょう。

コンドーム需要創出の工夫

メディアを活用した既存のコンドーム需要創出策は一すであるところなら必要なメッセージを修正しつつ継続すべきです。コンドームの普及にはHIV、STIs、妊娠の三重の防止効果があります。関連する保健サービス（避妊サービスやHIV検査など）と同じように扱わなければなりません。さらに現状を考えれば、以下の方法および領域で工夫を重ねる必要があります。

- **メディアを通じたコンドーム・プロモーションの強化。**
インターネットのプラットフォームを広く活用すれば、COVID-19、および男性用・女性用コンドームと潤滑剤の使用を含むHIV、STIs関連の公衆衛生メッセージを広く伝えることができます。
- **コンドーム使用のデモンストレーションと指導用のビデオをオンライン展開。** コンドームとその使い方に関する独創的なビデオプロモーションをオンラインで展開しましょう。信頼度の高い組織がそれぞれの土地の言葉で作成した良質なビデオにアクセスできるようにすること（あるいは他国の信頼できる組織による男性用コンドームと女性用コンドームのビデオを活用すること）が大切です。
- **出会い系アプリなどソーシャルメディアを通じたコンドーム・プロモーションの強化。** ソーシャルメディアと出会い系アプリの普及に従い、さまざまなコミュニティごとに、どの通信プラットフォームや出会い系アプリが、コンドームのメッセージやコンドームと潤滑剤の入手場に関する情報を伝えるのに最も適しているのかを評価する必要があります。
- **無料または補助金によるコンドームと潤滑剤のオンライン注文システムの助成。** オンラインショップが利用できるところでは、物理的距離政策の下で、その利用者が増えています。低所得国ではオンライン注文などできない人が圧倒的に多いのが現状ですが、アクセス拡大をはかる新たなアプローチを探ることはできます。若者などを対象にした無料コンドームのオンライン注文システムはすでに使われています。また、現在のような危機のもとでは、コンドームのような公衆衛生製品に補助金をつけ、価格を下げる交渉を行うこともできます。

HIVおよび性と生殖に関する健康と権利の広範な対策のもとでコンドームプログラムの積極的運営を継続

COVID-19の時代にあつて、コンドームと潤滑剤への注目度はあまり高くないかもしれません。それでも、HIVおよび性と生殖に関する健康と権利の対策の一部としてコンドームプログラムを積極的に運営し、COVID-19対策を構成する他のプログラムとの連携を探ることは重要です。コンドームの供給と需要を支える方策のための追加的資金も必要になるでしょう。国内資金で賄えない場合には、国連人口基金（UNFPA）や世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）のような国際パートナーの支援を受けることも大切になります。

さらに詳しい情報はこちらで。

- [Global HIV Prevention Coalition statement on COVID-19.](#)
- [COVID-19 and people living with HIV.](#)
- [Strategic considerations for mitigating the impact of COVID-19 on key-populationfocused HIV programs.](#)
- [An example of a city's guidance on safe sex and COVID-19 \(from New York City\).](#)

翻訳 公益財団法人エイズ予防財団